だんねぇで、

まあいっぺん

おいないさ。

お問い合わせ

松阪市　飯南地域振興局　地域振興課　0598-32-2511
　　飯高地域振興局　地域振興課　0598-46-7111

松阪市飯南・飯高と初めて出会う本

Matsusakacity linan and litaka An introductory booklet

生活環境
Living environment　1-4頁

ライフスタイル
Transplant lifestyles　5-8頁

現地アルバム
Hometown memories　9-18頁

子育て

「松阪子育て一番宣言！」

松阪市は、中学生までの医療費助成などの多角的な支援をおこなっています。今後は更に、妊娠から出産、子育て、就学まで一人ひとりの状況にきめ細やかに対応するシステムの構築をすすめ、途切れのない支援が出来る、松阪版ネウボラの実現にむけて進みます。

地域外勤務でもあんしん

飯南飯高にはそれぞれに保育園があります。また、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象として、地域のみなさんの積極的な協力のもと、遊びを主とした育成指導を提供する放課後児童クラブが、飯南地域と宮前小学校区にあります。
これで働く場所が地域外になってもあんしんして勤められます。

ふれあいで楽しく子育て

子育て支援センターは、子育てに関する悩みや不安の相談など、保護者によりそった支援をおこなっています。
保育園では野外学習や地域交流も盛んで、地域との関わりや恵まれた自然とのふれあいの中で、豊かな感性と生きる力を育んでいます。

教育

地域にとけこみ学んで遊ぶ

地域ならではの授業内容、中学校では地域内で職業体験をしたり、総合学習で地域に入って学習をおこなっています。
市街地と比べ地域行事が比較的多く、住民同士がふれあう場が多いので、世代をこえた人と交流が持て、授業外でも郷土・地元を好きになれる素直な心が培われています。

個性がつながり学べる

地域の中学校と高校では、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現をめざし、連携型中高一貫教育を導入しています。そのほか、他校との交流もおこなわれるなど、地域が一体となった教育活動をおこなっています。地域の連携を核として、教育活動や教育内容の一層の改善・充実を図っています。

さきがけるＩＣＴ教育

タブレット端末や電子黒板など、ICT 機器を活用した教育に取り組んでいます。急速な変化を続けるグローバル社会で、答えのない難問に直面した時、仲間たちと協力し考え合い、教え合い、学び合い、発表し合う。そんな学びが今、教室では繰り広げられています。

暮らし

うまいもんわっけんあるよ

八代将軍吉宗公の御用茶であったといわれるお茶を飲みながら、茶菓子で日々の生活にほっと一息。
お茶、山菜や畑で取れた野菜を使っての食事、道の駅などには地産物がならびます。自然の恵みを食を通じて堪能してください。時にはちょっと贅沢に、ぼたん鍋や松阪牛の焼肉、鮎の塩焼きなんていかがでしょうか。

田舎暮らしはお互いさま

地域のなかで困った時は助け合えば大丈夫です！となり近所を訪ねてみて、交流を深めましょう。
地域の清掃活動や消防団活動、寄合いなどはなくてはならないものです。参加するうちに視野が広がって思いもよらない発見があったりと、交流をとおして頑張った分だけいい思い出になるはずです。

惹きつけられる地域の表情

安全安心なまちづくり、伝統文化の継承や新たな地域行事の開催などに取り組む組織がそれぞれの地域にあり、地域全体でまちづくりを進めています。
また、地域施設を拠点として多様なサークル活動、コーラスやダンス、ヨガなどの様々な公民館講座も元気におこなわれており、気軽に地域交流ができます。

生活を豊かにする施設

ツーリングを楽しむ人たちや地域の人たちでにぎわう道の駅、作った野菜を販売したり、日帰り温泉も楽しめます。また、気軽に使える多目的ホールがあり、サークル活動や講演、発表会などがおこなわれています。ほかにもいくつもの施設があるので、実際に足をはこんであなたのお気に入りのライフスタイルを見つけてください！

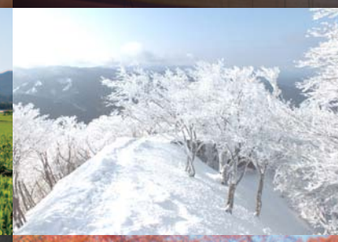
環境

適度な生活基盤と交通

電車が通っていないので車は必需品です。しかし、広い道路が地域の中央を走っているので、ほとんど一本道で市街地まで出られます！飯南飯高中央部からおおよそ車で45分間という程よい距離感。
診療所は複数あり、消防分署も各管内にあります。また、スーパーや飲食店、ローカルで元気なお店もあります。

四季に抱かれてすごす

連なる山々の谷間を駆ける風、ながれる川はどれもみな清らかです。春には新茶が鮮やかに芽吹き、夏は夕立で土の香りが立ちのぼり、秋には山里が実りをもたらし、冬は空気がさえわたり身が引き締まる。そして、夜空には満天の星が･･･
そんな情景を感じられる飯南飯高でぜひ暮らしてみませんか。



～岐阜県からのUターン～

大久保寿洋さん

高校卒業後に岐阜県で就職した寿洋さんは、そこで出会った妻の恭子さんと結婚する。
「いつかは地元に戻らないと」と考えているなか、父親の起業をきっかけにUターンした。その後は地元行事に積極的に参加し、いまや地域にとって無くてはならない柱となっている。

伝統を受け継ぐ若い世代

江戸時代から続く伝統行事「てんてん」や、地元神社の盆踊り復活の一翼を担った寿洋さん。
若い世代が地域行事に積極的に参加していける風土が培われている。あなたも地域のために活動してみませんか？

みんなで子育ち協力

放課後児童クラブ会長をつとめる寿洋さんは、こども達に「とっちゃん」(愛称）と呼ばれる。地域には子どもが少ない反面、親子や家族間でのつながりが緊密なので、困った時は地域の先輩たちに相談してみよう。きっと相談にのってくれるはず。

地域に貢献する消防活動

地域でひときわ輝く消防団員、後進育成の指導員でありながら、常に一線で活躍する。安全安心なまちづくりに取組み、地域からの信望も厚い。防災訓練などには積極的に参加し、地域住民に率先して自主防災の精神を伝えている。

放課後児童クラブ

就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした、遊びを中心とする学びの場です！地域のひとたちが互いに助け合い、子育てに取り組んでいます。

お問い合わせ：（飯南）飯南放課後児童クラブいいねっこ 0598-32-5220
（飯高）スマイルキッズ 0598-46-1315

～静岡県からのUターン～

阪口文則さん

静岡県で製材品販売の営業をしていた文則さん、静岡で出会った妻の由香里さんと２男１女の５人家族だ。Uターン後は経験を生かすべく地域の製材業社に就職した。移住してすぐは、地域との緊密な距離感に戸惑うこともあったが、今はいい環境だと改めて思うという。

引き継がれる郷土愛

大久保寿洋さん（左頁）ら消防指導員に鍛えられた文則さんらチームは、松阪市の消防大会で優勝を果たす。受け継がれる地域防災への想い。このような地域住民とのつながりが、安心して暮らせるまちを支えている。

休日は家族でアウトドア!

清流と深緑につつまれた住まいからちょっと車を走らせれば松阪港に到着、こどもと釣りを楽しむ文則さん。遊びついでに市街地で用事をすませるのが休日の王道スタイルだそうだ。

心の豊かさを育む環境へ

次男の入園や長男の学校入学をきっかけに、地域とふれあえる場所で子育てがしたいと移住した。「最初は不安が尽きなかったが、今はとても充実している。」と口をそろえる。

子育て支援センター（ルーム）

木のおもちゃ等がたくさん揃っている中で、おうちの方と一緒に遊べます！
松阪市在住で未就園のお子さんと、保護者の方が利用できます。

お問い合わせ：（飯南）子育て支援センターかんがるー 0598-32-8111
（飯高）子育て支援ルームやまっこ 0598-46-0056

～大阪府からのＩターン～

塩﨑 裕子さん

退職前の夫、公一さんを説得し、裕子さんは単身で週末移住に挑戦している。ゆくゆくはこの地域へ定住することを考えているご夫婦。裕子さんの出身は鹿児島県で、「田舎で育ったからまた田舎で暮らしたい。」と飯高地域への移住を決心した。

地域を明るく!定食屋さん

調理師免許を持つとっても元気な裕子さんは、地域おこしに対する熱意に溢れる。地元住民やツーリング客に定食などを振舞いたいという。今は公一さんと夢の実現に向けて、お店づくりのリフォームを進めています。

趣味の釣りを楽しみたい

「お父さんの趣味は海釣りなんです。」と笑顔で話す川釣り好きの裕子さん。「川釣りを教えようか？って聞くといいって言うんですよ。」と笑顔で語るおふたり。以前から好きだった釣りを本格的に再開したいのだとか。将来、釣りたての魚をたべさせてもらえるかも？

移住の準備はしっかりと

なんども移住体験ツアーに参加して飯高地域に移住を決めた裕子さん。移住の決め手は夢を実現するための条件が飯高にあったからだという。移住をするには「何がしたいのか」「なぜその地域なのか」という明確な理由が大事だ。

松阪市空き家バンク

移住定住を検討されていらっしゃる方は是非ご活用を検討してください！
松阪市のホームページにも情報を掲載しています！

お問い合わせ：松阪市 飯南地域振興局 地域振興課　0598-32-2511
松阪市 飯高地域振興局 地域振興課　0598-46-7111

～東京都からのＩターン～

岩男 安展さん

東京や海外で日本語教師をしていた安展さん。東京に戻ったあとバブルの狂騒のなか、こどもが成長するにつれて都会への不安を抱くようになったという。そこで子育て環境を見つめ直し、学生時代に出会った妻の秀子さんの故郷へＩターンした。

それでも森はいきている

杉やヒノキが多く植林され、虫や蝶の数は減り、獣害に悩まされている山の現状。そのような中でも地域のこども達に自然の大切さや楽しさを伝える活動をしたり、間伐などの森林の手入れもおこなっている。

自慢の原木しいたけ

移住をきっかけに、しいたけ栽培を始めた安展さんは、昔ながらの原木栽培にこだわっている。伐採したクヌギなどの端材は薪ストーブやお風呂の燃料になる。
「薪ストーブは冬の楽しみ、田舎の贅沢だよ。」と語る。

ローカルにしてグローバル

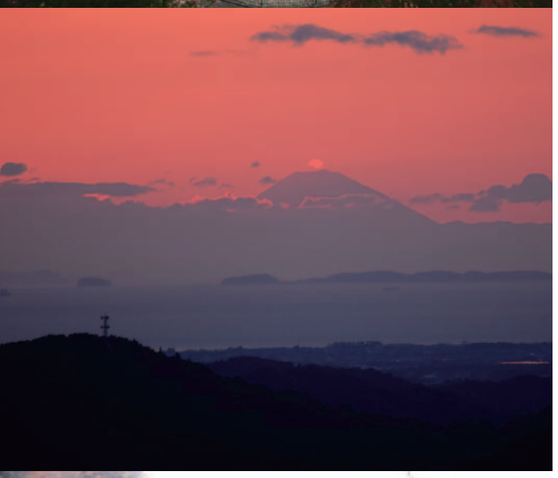
東京の友人をはじめ、シンガポール在住時代の友人とも交流が続いている。ホストファミリーとして留学生を受け入れ、ゲストハウスのように忙しいこともあったのだとか。世界中とつながりながらの田舎暮らし、あなたもどうですか。

野菜を直売できる道の駅

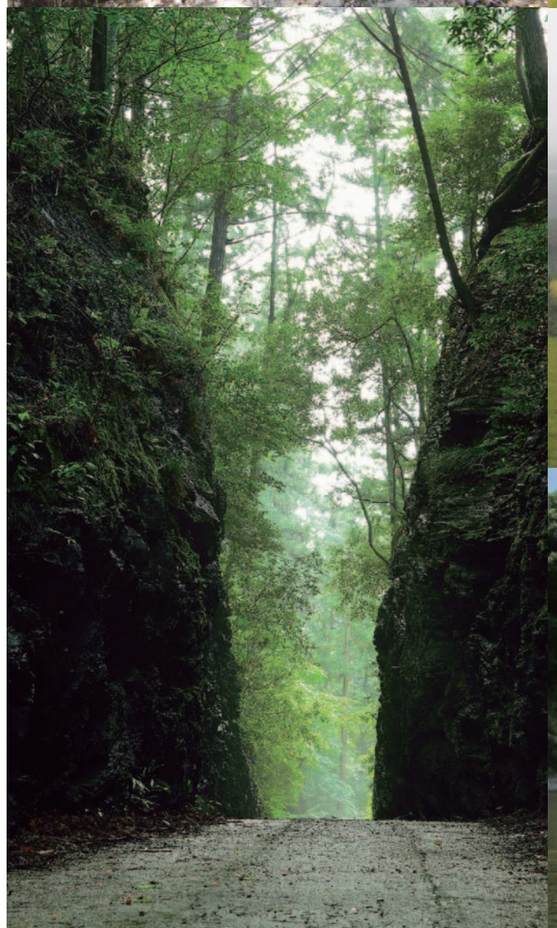
地産物などの直売コーナーがある道の駅「飯高駅」や「茶倉駅」は、安展さんもしいたけ販売に利用している。ここでは育てた野菜などを販売できます！

お問い合わせ：（飯南）道の駅「茶倉駅」 0598-32-2555
（飯高）道の駅「飯高駅」 0598-46-1111

伊勢と大和をつなぐ結びつき



多彩な薫りと音色がとりどり響く



あなたのアルバムにきっと残るまち

ここでやりたいこと〝はじめませんか〟？

ふと気付くと地域の魅力、真っ只中